

流祖50回忌の新年を迎えて

一般社団法人詩吟朗詠錦城会

会長 城戸城濤

丙午の新春を迎へ、皆様と共に、この一年が飛躍の年となること、そして平和で安全な年となりますことをお祈り申

申し上げます

本会顧問の諸先生をはじめ、吟界各方面の皆様、新しい年を迎える慶びを申し上げます。

昨年は、前代未聞の猛暑の夏、秋から冬にかけては、各地での熊騒動と、大変な一年でした。今年は、流祖の50回忌と現宗家の就任50周年の記念の年です。会員一同、頑張つて参ります。

令和八年 一月

(一社) 詩吟朗詠錦城会 宗家 城戸城濤
会長 山元錦城

当会の発展と共に振興会の変遷

し上げます。

さて、昨年一年振り返りますと、3月には湯河原で師範吟詠大会並びに研修会を開催、6

月には琵琶湖グランドホテルにて師範吟詠大会並びに総会が開催されました。

9月には宗家が渾身の力で作曲された教本第四十編の完成を見、宗範並びに総師範の代表者に対する宗家指導が行われました。50年に亘るご努力の結晶と考え、一つの大きな功績として喜びに堪えません。

11月11日、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠剣詩舞道大会が、5年ぶりに東京武道館で開催され、全国各地から多くの参加者が集い、大変盛大な大会となりました。錦城会は、初代宗家が振興会設立の当初から関わって参りましたが、当会の発展と共に振興会の変遷

に違和感を覚え脱会しておりました。この度は、吟詠剣詩舞道大会への参加を決意しまして、東京近郊の県本部にご協力をお願いし、男女夫々一組の合吟発表で任を果たしました。

11月30日、吟道の碑前祭が沼津市大瀬崎の大瀬神社社務所において斎行され、これには宗家も参加されて、滞りなく終了いたしました。碑前祭はこれまで、碑の建てられている大瀬崎中腹の吟魂台で催されてきましたが、そこまで300段余の急な階段を登らないと行けませんので参加者の高齢化と共に、登り切れる人が少なくなっています。この度、神社のご努力と吟詠界の皆様のご協力により社務所の改装成つて、今回初めて社務所での開催となりました。宗家が提唱していた神社での開催が実現したことに宗家も安堵され、宮司さんとのお話を大変弾んだことをご報告いたします。

午年の本年が、会員皆様にとって飛翔の年となりますように、吟詠・詩舞・琵琶の普及活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶といった

年であり、現宗家襲名50周年の年であります。多數の会員のご参加を期待しております。

午年の本年が、会員皆様にとって飛翔の年となりますように、吟詠・詩舞・琵琶の普及活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶といった

本
部
の
動
き
(
7
7
)
12
10
)
15
16
より

10月18～20日 広島県本部の師範指導と昇格審査

11月30日 吟道之碑 第62回合祀祭

12月7日 全国大会 福岡県大野城市・まどかぴあ

錦友…第324号

〈令和8年1月15日〉

・編集・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
・発行・
一般社団法人詩吟朗詠錦城会
東京都港区麻布十番2-4-14
電話: 東京03-5484-3301(代)
〒106-0045

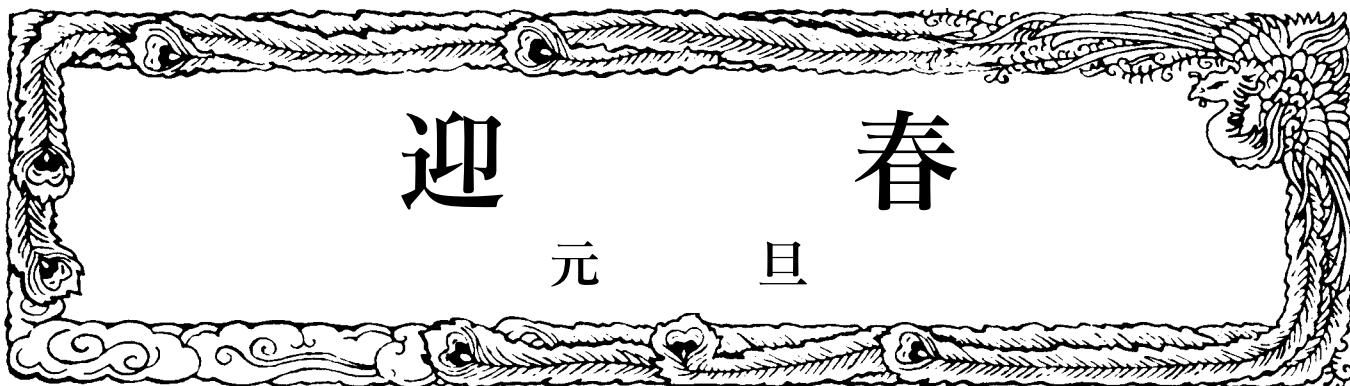
26日

10月18～20日 広島県本部の師範指導と昇格審査

11月30日 吟道之碑 第62回合祀祭

12月7日 全国大会 福岡県大野城市・まどかぴあ

国決勝大会



顧問（順不同・敬称略）

(株)日本文化チャンネル桜社長

水

島

総

同

同

同

同

同

同

同

同

同

理

事

同

常

務

理

事

同

副

会

長

同

最

高

諮

問

委

員

相談役

会長城戸城濤

金子錦右(佐賀)

中野錦修(東京)

岩田城龍(東京)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城広(滋賀)

塩川錦晃(大阪)

沖浦城昭(広島)

吉本城川(鹿児島)

竹崎錦里(道南)

西川錦洸(広島)

東本錦怜(福岡)

今井勝(東京)

佐藤錦果(神奈川)

高羽城幹(神奈川)

土師城皓(鹿児島)

金子城大(埼玉)

村瀬城博(愛知)

本村錦香(鹿児島)

大内城晃(茨城)

芹澤城征(福島)

本間城楓(道央)

海野錦麗香(茨城)

和田錦堯(東京)

金子錦要(埼玉)

若月城嗣(愛知)

深水城實(静岡)

宮川城

この大会は約2年前から会場を予約して東本錦怜本部長を中心にスタッフが一丸となり取り組んでこられたことを実感しました。

先ず印象深かったことは11時30分の開場と同時に一般の来場者が座席を探す様子を目の当たりにしたことです。地元ではチラシを作成して福岡県の会員が会場を一杯にしたいとの思いから一人一人が日々頑張ってきたことが報われた瞬間でした。会場は開幕前からほぼ満席となり素晴らしい全国大会を盛会裏に開催できる予感がいたしました。

そして予測した通り、ご来場された観客は熱心に舞台を鑑賞してくださいました。出吟者もリハーサルで宗家先生から指摘されたことを修正して熱い吟詠で応えました。熱心な観客に真摯に向き合つて、観客に応える詩舞、剣舞、琵琶、朗詠があり、舞台と客席の一体感が徐々に会場内で醸成されていく様を見ることができ素晴らしい大会でした。

座席で鑑賞するのに併せて舞台の袖にも行き、舞台と客席を交互に観察してきましたが、開

幕から閉幕まで順調な進行ができたと思います。琵吟舞物語「平家兵船絵巻」の舞台が終わると一般客席は少し減少した感がありましたが、最後まで熱心に鑑賞してくれた福岡県の観客に感謝したいと思います。

会場を移して博多駅前のホテルでの懇親会、これも素晴らしい企画で大変盛り上がりました。宗家先生から「素晴らしい大会であった。宗家として褒めて遣わす」とのお褒めの言葉が飛び出しました。地元の会員にとってこれ以上の言葉はなく、宗家の言葉に感謝しつつ、誇らしい気持ちなったことでしょう。

大野城まどかぴあ全国大会に参加して

雅号	県名	取得年月
佐藤錦秋	(愛知県)	7.7.7.
曾我錦淑	(山口県)	12.10.10月

◇新師範の紹介◇

（神奈川県本部 佐藤城孝）



女性の合吟



男性の合吟



開会式



女性合吟



名槍日本号



宝船



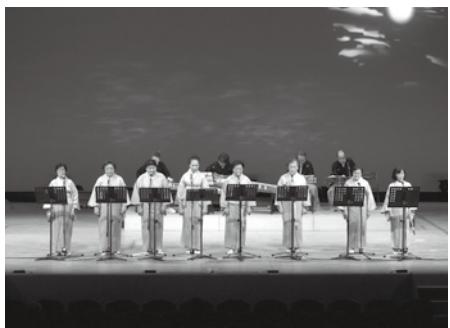
殉国華



雲流る果てに



男性合吟



大物の浦



平家兵船絵巻



琵琶曲「茶絃録」



義経の最期



宗範 本村錦香



詩舞「安宅」

新入会員の紹介	
	(7/10~12/15)
福沢支部	牧 容子
鹿児島支部	久見木久子
小泉友子	井上良江
大田支部	木村祐太
彦根支部	渡邊 徹
藤沢支部	稻本 誠
木村久美子	芦村享子
島原支部	月川朱美



渡邊錦龍 宮城県本部長

◇本部長の交替◇



閉会の辞

高齢者の多い会員には、吟行は少し厳しいかなとの想いでしたが、現地に着き、そこからのうつすらと雪を冠した富士山の眺望のすばらしさは、吟行の厳しさを一瞬忘れるほどでした。

横浜西部支部の創設以来、大変ご苦労をされてきました錦紫総

錦秋の候、石原城興大師範先生の一周年忌祭を終えた、月命日である11月14日に石原錦紫總師範と石原城興大師範の両大先生が永眠している靈園への横浜西部支部吟行会を開催いたしました。

支部員19名の参加者でした。

吟 行 会

横浜西部支部

高齢者の多い会員には、吟行は少し厳しいかなとの想いでしたが、現地に着き、そこからのうつすらと雪を冠した富士山の眺望のすばらしさは、吟行の厳しさを一瞬忘れるほどでした。

横浜西部支部の創設以来、大変ご苦労をされてきました錦紫総

懇親会では、普段会う機会が少ない仲間とのわいわいがやがやの交流の中で、両先生の昔話に誘われ、あちこちから吟詠の声が出てまいりました。なごやかにまた一つ思い出づくりができた吟行会の一日でした。

(横浜西部支部 野々川 錦梢)



師範、城興大師範のお墓参りができ、久しぶりにお逢いし、昔の吟声を心に想いながら線香の香りと煙に清められながら手を合わせ、会員一同心を一つにして男女それぞれで献吟をしました。これからも楽しい仲間たちと一緒に吟詠が長くできるようにとの思いを込めてお祈りしました。

第62回 吟道之碑前祭が開催される

晴天に恵まれた11月30日（日）、静岡県沼津市の大瀬神社に於いて第62回の吟道之碑前祭が開催されました。

例年は、300段の階段を上

加しました。当日は、暑いぐらいの天候で、富士山も海を隔ててくつきりと浮かび上がり最高の一 日となりました。

錦城会からの合祀者は、次の方々です。

老齢化が進み、階段を上ること
が困難な状況になり、今年は、
海辺にある大瀬神社の社務所を
お借りして催事が執り行われま
した。

多くの刺激と気づき

このたび「全国吟剣詩舞道大会」に参加させていただきました。流祖・山元錦城先生が生前大いにご活躍された由緒ある大会であり、長らくの願いが叶つた、かけがえのない一日となりました。

武道館という大舞台にて、諸流派の皆さまによる氣魄あふれる吟、そして迫力ある剣詩舞を間近で拝見する機会に恵まれ、深い感動を覚えました。それぞれの流派が持つ個性や魅せ方の違いは大変興味深く、思わず嘆嘆の声を漏らしてしまうほどでした。また、異なる流派が互い

このような貴重な機会を賜り
ましたこと、心より感謝申し上
げます。

かり、交流を深めることができ
ましたことも、心より嬉しく存
じます。

(東京都
金子錦佑)

城会だり 8名の選三、が口
ました。

第九位 植原光洋
日本伝統文化吟友会では、『文部科学大臣賞』『県知事賞』『(公財)日本伝統文化振興財団賞』を決める「出場者部門別」優勝者による吟詠の部優勝者(幼少者)

◆**催事のぞき案内**◆
（令和8年4月～9年3月）
◆**本会主催** ◆**本会後援**
◆滋賀県湖南地区大会
・令和8年7月19日（日）
◆錦城会全国大会
・令和8年9月27日（日）

有原裕絵様
全国第一位を獲得する

第34回日本伝統文化吟友会吟

詩舞·一般三部

中村妙子（玄島）

は、11月29日に、愛知県津島市文化会館で開催の予定です。

守山支部（滋賀）
支部長 宇野錦繩
盛岡支部（岩手）
支部長 紺野錦陽
野洲支部（滋賀）

年の部を除く、6名、剣詩舞の部、優勝者8名で本決選を行ないました。この本決選には、錦城会からの出場者を残念ながら送る事はできませんでした。令後の活躍を願っております。又、惜しくも入賞を逃されましたが皆様方も来年を期待いたして

◇組織体長の変更◇

◆**催事のぞき案内**◆
（令和8年4月～9年3月）
◆**本会主催** ◆**本会後援**
◆滋賀県湖南地区大会
・令和8年7月19日（日）
◆錦城会全国大会
・令和8年9月27日（日）